

令和7年度 事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

1 運用財産

- (1) 基本財産 沖縄銀行与儀支店(1年定期預金利息)16,638 円
琉球銀行与儀支店(1年定期預金利息) 3,896 円

2 定款に定める事業

(1) 国際的保健看護人材育成事業

国際的視野で活躍できる保健看護人材の育成を目的として、県立看護大学海外研修セミナーの支援を行っている。

今年度は、「台北護理健康大学学生研修プログラム」が行われ、「夏季台湾研修」参加者8名に計30万円を助成した。

尚、「春季台湾研修」および「ハワイセミナー」は、学生応募者がおらず実施されなかった。

(2) 離島・へき地看護教育推進事業

修学に困窮している県立看護大学の学生を対象に、離島実習に掛かる費用の一部を助成する事業を下記のとおり実施した。

申請件数：18件

申請者人数：17名

助成金額：1件につき1万円、先島諸島及び南北大東島は2万円(合計30万円)

申請内容：

学年	実施名・(実習先)	件数	実習期間
1年	早期体験実習(久米島)	2	3日
1年	島嶼・国際保健看護実習(津堅島)	2	2日
2年	生活援助・療養援助実習(宮古島市)	4	10日
4年	在宅保健看護実習(宮古島市)	1	12日
4年	看護総合実習(宮古島市)	1	11日
4年	地域保健看護実習(久米島)	1	17日
4年	地域保健看護実習Ⅰ、Ⅱ(北大東島)	4	18日
4年	地域保健看護実習Ⅰ、Ⅱ(竹富町)	1	18日
4年	地域保健看護実習Ⅰ、Ⅱ(多良間村)	1	19日
4年	地域保健看護実習Ⅰ、Ⅱ(栗国村)	1	18日

(3) 保健看護啓発事業

保健看護研究活動をする個人6名に対し、計925,870円を助成した。

	研究テーマ	金 額
1	急性期病院でがん投薬療法を受ける高齢がん患者の訪問看護利用促進の向けた取り組み	200,000円
2	小児がん終末期に携わる病棟看護師の困難感尺度の作成	121,280円
3	急性期病院の外科外来におけるがん患者および家族に対するACPを促進するための取り組み	200,000円
4	救急外来受診後入院せずに帰宅する軽症高齢者に対する新たな看護方法の評価	200,000円
5	ACLSインストラクターエッセンシャルコース(講習会)	84,590円
6	急性期病院で看護補助者として働く外国人労働者の長期定着に向けた看護管理者の取り組みの現状と課題 ー特定技能制度による初期段階に焦点を当ててー	120,000円

(4) 看護書籍集積事業

沖縄県立看護大学附属図書館の蔵書不足の解消にかかる費用(999, 966円)を助成した。

(5) 奨学金給付事業

成績が優秀で経済的に困難な状況に直面している県立看護大学学生を対象に、金秀青少年育成財団から受領した寄附金50万円と当財団の事業資金50万円を合わせ、100万円の事業を執行し、8名の学生に一人当たり125,000円の奨学金を給付した。